

グループ名：G6 日本語

作成者：門脇 薫・澤邊 裕子・鎌田 美保・阪上 彩子・住田 環

3×3+3 分析表

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の中で、よく使われる食材、よく食べる食べ物に関する語彙がわかる。 ・可能形の作り方がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教上の理由や健康上（アレルギーなど）の理由、食習慣の違いなどで、食べ物に違いがあることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスメートとの交流、活動を通し、お互いの違いを超えて協働していくとはどういうことか、について考える。
できる	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒に食事をする場面で、自分が食べられるもの、食べられないものを言うことができる。 ・相手ができること、できないことを質問したり、自分ができること、できないことを言うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの食習慣の共通点、相違点が理解できる。また、その相違点の理由を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化背景の異なるクラスメートと意見交換をしながら、パーティーの企画、準備、実施をする過程の中で自分の役割を果たすことができる。
つながる	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語を通してお互いの食生活の習慣、得意、不得意なもの、できること、できないことを知ること、友だちとの関係を作っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・皆が楽しめるパーティーを企画し、準備し、実施する中で、文化背景の異なるクラスメートと交流し、お互いの文化を受け入れて、尊重することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようなパーティーを企画し、実際にどのようなパーティーになったのか、を他のクラスメートや、教員に対して発表する。
三連携	<p>【学習者】パーティーの企画→準備→実際のパーティーの報告、という活動の中で、メンバーそれぞれの得意なことを活かす。</p> <p>【教室外】反転授業により、教室外での自主学習と繋げる。食品の成分表示、アレルギー表示に注意が向けられる。企画したパーティーの実施。</p> <p>【既習内容・経験・他教科】教科書の既習内容（文法・語彙）</p>		

グループ名：G6日本語<食べ物>

作成者氏名：門脇薫・澤邊裕子・鎌田美保・住田環・阪上彩子

5+5 ステップ: 語彙

語彙リスト

刺身、納豆、梅干し、鶏肉、豚肉、牛肉、卵、そば、お酒、小麦、大豆、えび

プレゼンテーション

- 教師は食べ物の実物か写真を見せ、日本語の語彙を発音する。学習者はそれを聞き、日本語の音とモノを一致させる。
- 教師は文字（漢字含む）カードを見せ、日本語の語彙を発音する。学習者はそれを聞き、日本語の音と文字（漢字）を一致させる。

言葉で遊ぼう

{牛肉、牛乳、豚肉、鶏肉}、{梅干し、卵、小麦、大豆} などから仲間外れを見つける。

インプットアクティビティー

- かるたとり：教師が日本語で語彙を発音し、実物や写真をとるゲーム
- YES-NO 疑問文：教師が「はい」「いいえ」で答えられる、語彙を使った質問文を学習者に聞く。
例) 「昨日牛肉を食べましたか」「刺身を食べたことがありますか」など
- マッチング：そのもの写真やイラストと日本語の文字（漢字）を線で結ぶ。

アウトプットアクティビティー

- 教師は実物や写真を見せて、学習者はその語彙を日本語で言う。
- 買い物かごか、かごの絵に食材の絵カードを自分たちで選んでもらい何を買ったか報告する。
- 教師は食品の写真を見せ、学習者はその中に何が入っているか報告する。何が入っていないかを報告する。
例) 牛丼：牛肉が入っています。
小麦が入っています。



文法を入れる(文法の部分を見よ)

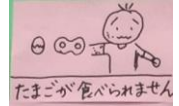
5+5 ステップ: 文法

文法構造・表現

- 食べられるもの、食べられないものが言える。
- できること、できないことを質問し、答えることができる。

プレゼンテーション

- ダイアログ (写真付きメニューを見ながら)
A: 何にしますか。これはどうですか。
B: すみません。私は◎◎が食べられないんです。
- 教師は腕にじんましんが出てる人と卵の絵カードを見せて「トムさんは卵が食べられません」と読む。イスラムの人の絵とお酒の絵を見せて「ムスリムですから、お酒が飲めません」「ベジタリアンですから肉や魚が食べられません」



インプットアクティビティー

- 反転授業：可能形の文法ノートを読んでおく。
1で導入した文型に注意を払い、分析する。
- カルタ取り：教師は可能形を使った文を読み、学習者は絵を見て、どれか選ぶ。
- YES-NO疑問文：教師は「はい」「いいえ」で答えられる、可能形を使った質問文を学習者に質問する。
例) 「鶏肉が食べられますか」など

アウトプットアクティビティー: メカニカル

- 変換練習：教師はいろいろな動詞の絵カードを見せて、学習者は可能形に変えて言う。
例) 牛肉を食べる→牛肉が食べられる
車を運転する→車が運転できる

アウトプットアクティビティー: ミーニングフル

- (パーティーをすることを前提に) 自分ができることを3つ言う。
例) 「ギターが弾けます」、「料理が作れます」、「重いものが持てます」

アウトプットアクティビティー: コミュニカティブ

- (1) 3～4人のグループになり、グループみんなが楽しめるパーティーを考える。食べられないもの、飲めないもの、できることなどをお互いに聞き合い、企画する。
例) A: 私は牛肉が食べられません。
B: じゃあ、牛丼はやめましょう。
C: 私は運転できます。
D: じゃあ、Cさん、スーパーで買い物してください。
- (2) 実際にパーティーを準備し、実施する。
- (3) 教室で、どんなパーティーを行ったかを各グループが発表する。

グループ名：G6 日本語

作成者：門脇 薫・澤邊 裕子・鎌田 美保・阪上 彩子・住田 環

3×3+3 分析表

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> 日本の観光地・観光名所や日本旅行で体験できるもの・こと（もみじ、花火、温泉、スキーなど）の語彙がわかる。 希望を表す「～たい」の作り方、使い方がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の観光名所や有名なイベント・祭りが行われる場所がどこか、どんな場所かわかる。 季節によって何が見られるのか、どのようなイベントがあるのかを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> クラスメートとの交流、活動を通し、お互いの違いを超えて協働していくとはどういうことか、について考える。
できる	<ul style="list-style-type: none"> 旅行でしたいことを言うことができる。 旅行でしたいことを書くことができる。 クラスメートに、旅行でしたいことを質問したり、クラスメートからの質問に答えたりすることができる。 旅行でしたいことを言い、おすすめの場所を聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本と自国の季節に関わるイベントの共通点や相違点を挙げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> インターネットなどを利用し、クラスメートと協力して旅行計画を立てることができる。 (オプション：Skype などを利用し、交流校の日本の学生におすすめの場所を聞く) 旅行計画をプレゼンテーションすることができる。
つながる	<ul style="list-style-type: none"> クラスメートに、旅行でしたいことを質問したり、クラスメートからの質問に答えたりして、同じことをしたい人を見つけることができる。 クラスメートと旅行計画を立てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> クラスメートと旅行計画を立てる中で、お互いの希望や考えを伝え合い、聴き合い、メンバーのことを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 旅行計画をプレゼンテーションする。 (オプション：旅行計画を交流校の日本の学生にプレゼンテーションし、意見やコメントをもらう)
三連携	<p>【学習者】学習者の興味、関心に合わせ、旅行計画を立てることができる。</p> <p>【教室外】反転授業により、教室外での自主学習と繋げる。(オプション：交流校の日本人学生とやり取りできる)</p> <p>【既習内容・経験・他教科】教科書の既習内容、地理</p>		

グループ名：G6日本語<旅行>

作成者氏名：門脇・澤邊・住田・鎌田・阪上

5+5 ステップ: 語彙

語彙リスト

富士山、温泉、ディズニーランド、USJ、花火、すし、おみやげ、もみじ、ゆかた、花見、ゆきまつり、スキー、抹茶、雪、新幹線、写真

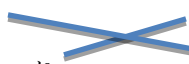

プレゼンテーション

- 教師は写真を見せながら、新出単語と場所（USJー大阪）、季節（花見ー春）などと結びつけ紹介する。

言葉で遊ぼう

- 写真カードをカテゴリーに分ける。（例）場所・・・富士山、温泉
季節・・・もみじ、花見、ゆきまつり
- 仲間外れを見つける。（例）〈ディズニーランド、温泉、USJ、ゆきまつり、すし〉から仲間外れを見つける。

インプットアクティビティー

- かるたとり：教師が「温泉」などと言って、学生がその写真（あるいは絵）カードを取る。
- マッチング：USJ  ほっかいどう もみじ  はる
ゆきまつり おおさか はなみ あき
のように、関連する場所や、季節のことばと一致させる。

アウトプットアクティビティー

- 教師は語彙の写真を見せて、学生はその語彙を日本語で言う。
- Q&A 教師が質問し、学生がそれに対して答える。
（例）教師：北海道であるものはなんですか。
学生：ゆきまつり。

文法を入れる(文法の部分を見よ)

5+5 ステップ: 文法

文法構造・表現

～たいです

*自分が行きたい場所、したいこと、食べたいものなどが言える。

プレゼンテーション

● ダイアログ

A: こんどの休みに、日本へ旅行に行きます。温泉に行きたいです。どこがいいですか。

B: 別府がいいですよ。

A: 別府ですか。ありがとうございます。

インプットアクティビティー

● 反転授業: 学生は、事前に予習ビデオを見て、「～たいです」の文法解説を聞いてくる。

～を・・・ます→ ～を・・・たいです。

が

～へ・・・ます→ ～へ・・・たいです。

反転授業において否定形から「～たくないです」、ます形から「～たいです」を作ることを説明している。

● かるたとり: 机の上に写真カード(場所、食べ物、すること等)を置いて、教師が「行きたいです」と言ったら、それに合うカードを取る。

(例) 机の上に、富士山、すし、抹茶、新幹線の写真が置いてある。

教師: 行きたいです。

学生: (富士山の写真を取る)

● マッチング: 名詞と関連する動詞をマッチングさせる。

(例)

・USJへ	→	みたい	です。
・すしを	→	たべ	たいです。
・もみじを	→	い	きたいです。

アウトプットアクティビティー: メカニカル

● 文の後半を考えて言う練習: 教師が「すしを・・・」「ディズニーランドへ・・・」など文の前半部分を言って、学生が口頭で(または写真カードをとって)「食べたいです」「行きたいです」などと言い、文を完成させる。

- 文を作るドリル：下線部に入ることばを書く。
 (例) すしを_____たいです。(たべます)
 USJへ_____たいです。(いきます)

アウトプットアクティビティー: ミーニングフル

- 自分が旅行をしたい場所、そこでしたいことなどを自由に書く練習。

指示：日本へ行きます。どこへ行きたいですか。そこで、何をしたいですか。
 3つ書いてください。

(例) わたしはディズニーランドへいきたいです。すしを食べたいです。はなびを見たいです。

アウトプットアクティビティー: コミュニカティブ

クラスの中で、旅行をしたい場所、そこでしたいことなどについてインタビューして、インタビューシートにまとめる。

(例)

なまえ	どこへ いきたいですか	そこで、なにが したいですか
(れい) ダニエル	ほっかいどう	ゆきまつりが みたいです

インタビューをしたあと、他の人の情報を発表し、同じところへ行きたい人が集まって、グループで詳しい旅行計画を立てて、プレゼンテーションする。

(オプションの活動)

海外で日本語を学んでいる学生たちが、日本に交流校がある場合にはダイアログのような会話を、SKYPEなどを通して実際に行い、旅行プランを作ってみる。